

武蔵大生が大学の魅力を発信する Web マガジン

コロナ禍でも伝え続ける「きじキジ」

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山壽哲哉）は、2013年より高校生や在学生を対象とした Musashi Web Magazine「きじキジ」を公開しています。このサイトは、武蔵大生によって構成された編集部が企画・編集をし、大学生活やキャンパスのある江古田にまつわるさまざまな情報を、形式にとらわれない自由なスタイルで発信。学生ならではの視点や、ユニークな発想と行動力でコンテンツが作られているのが特長です。

Musashi Web Magazine「きじキジ」とは

Musashi Web Magazine「きじキジ」の編集部員は現在、1～3年生 8名の構成。大学広報活動の一環という側面もあり、スキルアップのため教職員が定期的にワークショップを開催するなど活動をバックアップしています。「きじ」（雉）は、武蔵大学のロゴのモチーフで、本学のルーツである旧制武蔵高等学校時代からのシンボル。「きじキジ」のネーミングは、学生が提案した「雉」と「記事」をかけたネーミングが採用されて生まれました。

！ Musashi Web Magazine「きじキジ」Pick up ！

Web マガジンのコンテンツは、「特集」「イベント」「勉強」「ライフ」「進路」「恋愛」「グルメ」「ブログ」「その他」の9つのカテゴリに分類されています。

— 直近の投稿より —

▼ 卒業生インタビュー『英語英米文化学科から就職した松本智之さん』

人気の卒業生インタビューシリーズの第18弾。留学経験やアルバイトなど、やりたいことを徹底的にやった大学時代から現在の社会人生活まで、卒業生が語っています。

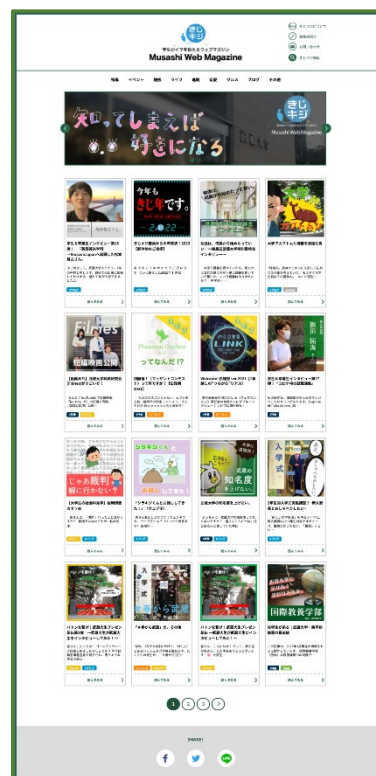
▼ 勉強は、何歳から始めたっていい。練馬区武蔵大学特別履修生インタビュー

「特別履修生制度」を使って学ぶ履修生に、武蔵大学で今学ぶ理由を取材しています。

▼ 【動画あり】武蔵大学映画研究会(Filmes)がすごいぞ！

コロナ禍で中止や規模縮小が相次ぎ発表の場が減っている、そんな部活やサークル団体にスポットを当てて紹介する新企画。第1弾は映画研究会。

※ぜひ、こちらからご覧ください。URL：<https://webmag.musashi.ac.jp/>



— 報道関係者問い合わせ先 —

武蔵大学 広報室 担当：西・齋藤（にし・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp



2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えます。

■ **武蔵大学** 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学との平行・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1